

みどりの杜俳句会

つゆ草の山路に一輪遅れ咲く

佐山ケサ子

みんなや木の間を白き雲移る

松本 孚子

段畑の間間にまっすぐ山の百合

梅澤きくえ

昼食に添へて好みの新生姜

吉田 愛子

山風に細かく揺られて百合の花

今村千鶴子

秋の空雲の流れの消えてゆく

鈴木 啓子

みどりの山崖に白百合貴品あり

木村 弘子

土手の木木夏雨に濡れ青つよし

飯野はつ志

雨上がり羽を広げて小鳥来る

田村 好子

土手の草むら白百合の一本ひらく

西 ツル

朝焼けや山空ぼかし柄となる

関口 侑子

うたた寝の夢に蝸来て鳴けり

野口利江子

昼食のカレー素揚げの夏野菜

神田 昌美

炎天下花壇の草のうなだるさ

小林 一樹

朝日射す秋明菊のさやかかな

小宮 勉

蝸や施設の庭に露店組む

岩崎 真人

烏瓜藪に絡みて花しほむ

土屋 厚子

擬宝珠の途切れず咲けり山の道

初雁 功子

葉の上に並びてひらき山法師

岡部富美子

銃線の庭木に絡みひらきけり

鯨井 和枝

森行くや草の中なる夏蕨

山田 美子



人権シリーズ

396

『自閉スペクトラム症・障がいの「特性」は「個性」』
「自閉スペクトラム症（ASD）」は、「対人関係が苦手」・「強いこだわり」といった特性のある発達障がいの一つです。

以前は、特性の有無などで、「自閉症」「アスペルガー症候群」「特定不能の広汎性発達障がい」などと分けていましたが、近年は統一して「自閉スペクトラム症」と呼ぶようになりました。

この障がいのある人たちの中には、言語の発達や知的発達の遅れが見られない人たちもいますが、次のような行動等がよく見られます。

遠まわしな表現や比喩を使った表現、表情やしぐさから相手の感情を読み取ることの困難さがあるため①自分の話ばかりする②相手が傷つく言葉を悪気なく言ってしまう③決まったルーティンが崩れ、新しい環境へ適応が必要になったときパニックに陥りやすい」などが挙げられます。

これらの行動は、これまでの多くの研究から、親の育て方やしつけ方などが原因ではないことがわかっています。

この障がいのある人たちは、周囲の人たちに障がいの特性を理解してもらえず、人間関係がうまくいかなくなり、ストレスがつのり身体症状（頭痛、腹痛、食欲不振）や精神症状（不安、うつ、緊張、興奮）など、「二次的な問題（二次障がい）」を引き起こし易いと言われています。

障がいのある人たちが生きづらい社会は、そうでない人にとつても生きづらい社会です。

障がいの「特性」はその人の「個性」と思って接してください。障がいのある人を丸ごと理解して受け入れている社会が、人権を尊重している社会だと思います。

学校教育指導員 足田 正典

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 10月25日（火）午後1時30分～
場所 役場2階新会議室
問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

